



発行所 日本聖公会 沖縄教区  
〒901-2102 浦添市前田3-3-5  
電話 (098) 942-1101  
編集責任 教区事務所 (1部20円)

「心を騒がせるな。神を信じなさい。そして、わたしをも信じなさい。」

(ヨハネ14:1)

司祭 ドミニカ 朴 美賢



この御言葉は、イエス様が十字架にかけられるために捕らえられる数時間前、いわゆる最後の晩餐の席で教えられました。ペトロが三度イエス様を知らないと言うことを予告された直後に、イエス様は弟子たちに向かって「心を騒がせるな。神を信じなさい。そして、わたしをも信じなさい。」と教えられたのです。

私はこの御言葉から、イエス様の深い愛と慰めを感じます。十字架の死を目前にしておられたその時でさえ、イエス様はご自分の苦しみよりも恐れと不安に沈む弟子たちのことを思っておられました。イエス様が捕らえられ、十字架にかけられることによって、弟子たちがどれほど動揺し、弱り果ててしまいかを存じだつたのです。そしてその彼らのために、また私たちのために「神を信じなさい。わたしを信じなさい」と教えます。

イエス様が捕らえられ、十字架にかけられたとき、弟子たちは「これまでの日々は何だつたのか。これから自分たちはどうなるのか。」不安と恐れに心を支配されたのです。イエス様は、そのこともすべてご存知でした。私たちも同じです。すべてが終わってしまったかのうに感じる時、これまでの歩みがむなしく思える時、「神様は本当におられるのか」とさえ思ってしまう時があります。しかし、そのような時こそ、神様は私たちの最も近くに来てくださるのではないのでしょうか。私たちの人生を共に歩むために、そばにいてくださるのです。

「信じるのが困難な時にこそ信じる。」それが、神様を愛する私たちに求められている信仰なのではないでしょうか。それでも、弟子たちは実際に心を騒がせました。イエス様が捕らえられ、十字架にかけられたとき、彼らは逃げ、恐れました。まだ復活の主と出会っていないからです。目に見える命しか知らなかったからです。しかしその後、弟子たちは復活のイエス様と出会い、変えられました。そして、「心を騒がせるな。神を信じなさい。そして、わたしをも信じなさい。」というこの御言葉を胸に刻み、本当に神様を信じるこそが不安と恐れに打ち勝つ道であると宣べ伝える者となりました。イエス様の教えの言葉の中に生きる者となったのです。ですから、今を生きる私たちも心に留めましょう。イエス様こそ、私たちの道であり、真理であり、命です。イエス様を通らなければ、だれも父のもとに行くことはできません。

私たちには分からないことが多くあります。どのようにして神の国に至るのか、どのようにして心の騒ぎから解き放たれるのか、はつきりとは見えないこともあります。それでも、イエス様が道そのものであることを信じます。私たちが歩むその道のただ中に、イエス様がおられることを信じます。迷いながらもよいのではないのでしょうか。その迷いの中で、イエス様に出会いましょう。祈りましょう。そうすれば、迷いながら歩く私たちを、イエス様は備えながら待っていてくださいます。今日の一步よりも、明日の一步がより確かなものとなりますように。主の御手の中で、私たちが静かな心を取り戻すことができますように。+

(愛楽園祈りの家教会牧師)



先日、映画館で「キング・オブ・キングス」という映画を観た。チャールズ・ディケンズ(『クリスマス・キャロル』の作者)が我が子のために書き下ろした幻の作品とはいえず、大きな映画館でイエス・キリストを紹介するような作品が上映されることは珍しいのではない。また、チラシには「世界一有名なヒーロー」とあり、宗教を語りにくい社会の中で、イエス様を「ヒーロー」として紹介することに、驚くと共に斬新さを感じた。剣を持つ勇敢な王に憧れる5歳の少年が、父の語るイエス様の物語を通して、本当の強さとは何か、また信じることや愛の大切さを知っていく。そして少年はイエス様との出会いと復活を心から喜ぶ者へと変えられていく。

3DCGで描かれるイエス様は最初こそ違和感があったが、イケメンでイケボ(心地よい声)のイエス様が語るみ言葉に次第にひき込まれていった。私と共にいてくださるイエス様も、こんな優しい眼差しで見つめ、語りかけてくださっているのだろうか。そう思い巡らしながら、聖書の世界に浸ったひと時であった。

3月20日(金・祝)、主教座聖堂にて大倉信彦聖職候補生の執事接手式が行われた。大倉執事は前職を定年退職した後、聖公会神学院「特任聖職特別コース」(オンライン)を3年間受講。今年その

### 沖縄教区「教区の日」 大倉信彦聖職候補生「執事接手式」



課程を修了した。教役者、信徒数の減少等、先への不安を感じ、話題が多い中で新たな聖職者の誕生、しかも長年共に信仰生活を過ごしてきた信徒が聖職へ接手されたことは、いつにも増して大きな喜

びとなった。説教者の戸塚鉄也司祭は、諦めず切に祈れば、神様は必ず私たちの願いに答えてくださる。と例えを用いながら力強く話された。教区聖歌隊は、大倉聖職候補生の執事接手を切望し、数カ月前から「ハレルヤコース」の練習に取り組んでいた。願い叶って、この日の陪餐時には晴れやかな歌声を響かせた。

またこの3月末をもって定年退職を迎える戸塚鉄也司祭と、高英敦司祭にとっては、この日が最後の教区礼拝となり、午後9時の部ではささやかなセレモニーが行われた。

教区誕生75年目を迎えたこの日は、喜びあり、別れの淋しさありの1日であった。それぞれの新たなスタートが祝せられるよう、また教区の新たなあゆみのために皆で祈りつつ、力を合わせて前進していきたい。

### 戸塚司祭説教(抜粋)

今日の福音書のすぐ後に、盲人バルティマイの話が出てきます。私たちは先ほど「主よ憐れみをおあたえください」と3回唱えました。これはその聖書箇所から来ていると聞いたことがあります。先ほど、とても綺麗な歌として歌いましたが、あれは叫びです。「目を開けてください。本当に僕は見えないんだから開けてください。」バルティマイの心からの切実な叫び、願いの心です。ここから「主よ憐れみをおあたえください。」という言葉が来ていると言われています。

(今日の福音書の箇所) 私たちが一番偉くなりたいと思っている時というのは残念ながら目が閉ざされている状態になっていきます。私も本当に長い間目が閉ざされていて、まだ時々この目が見えない状態になることがあります。皆様方はいかがでしょうか。

イエス様は「偉くなるかならないかは、天の主なる神さまが決めることだ。」「偉くなりたい者は、皆に仕えるものになり、一番上になりたい者は、全ての人の僕になりなさい。人の子は、仕えられるた



### マイターボックスー 主教ダビデ 上原 榮正 ダイム・サラ・ムラリー 第106代 カンタベリー大主教着座

3月25日(聖マリアアへのみ告げの日)、サラ・ムラリー主教のカンタベリー大主教着座式が行われました。紀元597年にオーガスチンがカンタベリーに到着して以来、はじめての女性主教となります。

昨年1月、教会関係者による大勢の児童への虐待の責任を取り、前任のジャスティン・ウェルビー主教が辞任しました。その後主教選出委員会が立ち上がり、10月にサラ主教を選出、今年1月にチャールズ国王から第106代カンタベリー大主教に委嘱されました。着座式はウィリアム皇太子夫妻と約2,000名の会衆、165か国42管区の殆どの首座主教が出席して行われました。

サラ主教は元看護師で、1996年にイギリス政府の首席看護官に任命され、その功績が認められ2005年大英帝国勲章ダイム・コマンダーを受賞し、ダイム(女性騎士の称号)を頂いています。主教は1998年に召命を感じ、神学校入学、卒業後聖職となり、特任聖職として働かれました。2004年、看護師の仕事を辞し、専任聖職となります。2015年にエクセター教区・クレディトン教区主教補

佐、2018年133代ロンドン教区主教に就任しました。

聖公会はこれまでも、女性聖職、同性愛者、同性婚、ジェンダー問題と取り組んできました。今回の女性大主教誕生によって課題も増したと思います。実際、世界聖公会未来会議(GAFCON)に属する教会はサラ主教に反対し、世界中の教会へ聖公会(アングリカン・コミュニオン)からの脱退を呼びかけました。また世界には、戦争、災害、地球温暖化、環境破壊、貧困、人種、民族など格差や差別など問題が山積みです。「正義と平和」の問題は教会の課題です。サラ大主教は、これから多くの問題に取り組むこととなります。

着座式の翌日、大聖堂敷地内の会議室でサラ大主教と各管区的首座主教たちとの懇談会が持たれました。殆どの首座主教たちがサラ大主教の支持を表明したことは、励ましになったと思います。日本聖公会も主教会でそのことを確認しています。大主教は、聖母マリアのように、「み言葉の通りになりますように」(ルカ1:38)と着座式で語られました。そこに深い決意を感じました。



執事接手を受けて

3月20日沖繩教区の日礼拝において、主のお許しを得て沖繩教区の特任執事に接手されました。これまで私を導き支え、絶えず祈ってくださいました主教様、教役者の方々、神学院の先生方や関係者の皆様、教会・教区につながる兄弟姉妹の皆様、また、私の歩みを見守り支えてくれた家族に對しても、心からお礼を申し上げます。

召命によって、キリストのために働く執事にしていただいたことに、喜びとともに畏れを覚えていきます。主のみ言葉に信頼し、主に任せ、人に仕えることができるように日々祈りながら歩みたいと願っています。

祈禱書執事按手式の試問の部分に執事の務めが記されています。執事の務めは、み言葉を述べ伝えること、礼拝において主教や司祭を助けることとは言うまでもないことですが、それに加えて、悩む人・悲しむ人・病氣の人・貧しい人・その他災いのうちにある人びとに仕えることが強調されています。困難を抱える人びとに仕えるという執事の務めは、教会と社会を結ぶ務め、言い換えると教会が社会に仕えることができるよ

うに働く務めであると理解します。分断や孤立が深まる時代にあって、和解と希望のしるしとしてキリストと共に生きる者として証しできるように、祈りつつ歩んでまいります。社会で働いて社会との関わりを持ちながら自給して、教会のためにも働く特任執事の働き方が、教会と社会を結ぶ執事の務めに生かされることに期待しています。特任聖職について左記の書籍があります。興味のある方は、ぜひご一読ください。また、聖公会神学院では2023年から特任聖職オンライン講座が開講されています。



『祈禱書執事按手式の試問の部分に執事の務めが記されています。執事の務めは、み言葉を述べ伝えること、礼拝において主教や司祭を助けることとは言うまでもないことですが、それに加えて、悩む人・悲しむ人・病氣の人・貧しい人・その他災いのうちにある人びとに仕えることが強調されています。困難を抱える人びとに仕えるという執事の務めは、教会と社会を結ぶ務め、言い換えると教会が社会に仕えることができるよ』

『祈禱書執事按手式の試問の部分に執事の務めが記されています。執事の務めは、み言葉を述べ伝えること、礼拝において主教や司祭を助けることとは言うまでもないことですが、それに加えて、悩む人・悲しむ人・病氣の人・貧しい人・その他災いのうちにある人びとに仕えることが強調されています。困難を抱える人びとに仕えるという執事の務めは、教会と社会を結ぶ務め、言い換えると教会が社会に仕えることができるよ』

『祈禱書執事按手式の試問の部分に執事の務めが記されています。執事の務めは、み言葉を述べ伝えること、礼拝において主教や司祭を助けることとは言うまでもないことですが、それに加えて、悩む人・悲しむ人・病氣の人・貧しい人・その他災いのうちにある人びとに仕えることが強調されています。困難を抱える人びとに仕えるという執事の務めは、教会と社会を結ぶ務め、言い換えると教会が社会に仕えることができるよ』



4月5日のイースター礼拝後、またその後の主日に各教会で撮影して頂きました。

今年は8教会で人事異動が行われ、新しい司祭による初礼拝とイースター礼拝が重なりました。移動した教役者にとっては、慌ただしく大変だったことと思いますが、どの教会も、賑やかに楽しいひと時を過ごしたようです。



三原聖ペテロ聖パウロ教会



宮古聖ヤコブ教会



石垣キリスト教会



豊見城聖マルコ教会



小禄聖マタイ教会



島袋諸聖徒教会



首里聖アンデレ教会



愛楽園祈りの家・屋我地聖ルカ教会



名護聖ヨハネ教会



北谷諸魂教会 All Souls' Church, Chatan

公 示

救主降生2026年3月21日  
日本聖公会沖縄教区主教  
主教 ダビデ 上原 榮正

下記のとおり、人事を発令します。

執事 クリストファー 大倉 信彦  
2026年3月20日付  
名護聖ヨハネ教会牧師補に任命する。

司祭 ペテロ 高良孝太郎 (退)  
2026年4月1日付  
管理牧師司祭ドミニカ朴美賢のもと、  
名護聖ヨハネ教会において主日礼拝協  
力を委嘱する。

西日本宣教協働区「沖縄青年の旅」



3教区の青年の交流と平和学習を主な目的として企画され、その第1回目(3月19日)から22日まで、沖縄での開催となった。

20日は沖縄教区の日礼拝に参加。翌日からは聖ルカ教会に宿泊し、愛楽園交流会館の見学やハンセン病についての学びをした。ハンセン病について初めて知った参加者もあり、貴重な学びの時となった。また移動途中には広大な米軍基地を目にして驚いたそう。観光地としての楽しい沖縄のイメージが一変。沖縄の抱える問題についても目を向ける機会となったようである。あいにくの天気ではあったが、教区の青年とも交流を深め、楽しくプログラムを終えることができた。3教区で場所を変えながら、継続していかれたらと思う。

「み国が来ますように」の祈りに参加しましょう!

今年も昇天日(5月14日)から聖霊降臨日(5月24日)にかけて行われます。日本聖公会主教会が11日間の黙想と祈りを担当して執筆した「祈りのしおり」を用いてお祈りください。(各教会で配布します。)

召 天



◆3月19日(木)  
エリサベツ 新木ひろ美  
(三原聖ペテロ聖パウロ教会)

◆4月5日(日)

司祭 オーガスチン 西川 正文  
(神戸教区退職)

\*西川司祭は、1967年から3年間、神戸教区より派遣され、首里聖アンデレ教会でお働きくださいました。宣教會のみならず、教会建設に際しての長年の土地問題の解決に尽力。またカンタベリークラブの指導司祭も務められ、沖縄教区のために精力的にお働きくださいました。

十 魂の平安を

お祈りいたします。

第75(定期)教区会後

第5回常置委員会報告

日時…2026年3月16日(月)  
場所…教区センター会議室

I. 諸報告(教務局会より)

① 宣教部報告

・ 宣教部会を再延期。  
・ 3月19(22)日西日本青年沖縄の旅が行われる。青年4名(九州3, 神戸1)、引率2名。教区の日礼拝にも参加予定。

② 総務部報告

・ 2月16日(月)総務部会を開催。各委員会からの報告を受け、いくつかの提案を行った。次回5月頃予定。  
・ 教区の日礼拝について。参加人数確認中。陪餐時の会衆の聖歌について教役者会で確認した。離島参加者の旅費交通費について確認した。その他各係についての確認をした。

③ 財政部報告

・ 3月2日(月)財政部会開催。2月の資産運用状況と収支を報告した。  
・ 資産運用委員会より。野村證券の担当者が交代。  
・ 傷害保険の更新確認をした。  
・ 引越費用の個人負担範囲について確認をした。

・ 退職金支払い方法について確認をした。

④ その他

・ 北関東教区より、金山昭夫司祭の異動費用についての相談あり。教務局案として、北関東教区が支出した額の半分を沖縄教区で負担することを、常置委員会で確認する。退職引当金の預かりについても確認を行った。

II. 主教連絡

・ 4月19日に2回目の主教選挙の学びを予定。  
・ 3月19日に退職教役者およびお連れ合いの会を予定。  
・ 3月8(10)日に聖ジョージの家にて大倉信彦聖職候補生のリトリートを予定。  
・ あぶらむの里の大郷博氏が青木恵哉執事著「選ばれた島」の映像化に取り組んでいる。支援の呼びかけを行ってほしい。

III. 協議事項

1. 聖マタイ幼稚園の行政提出書類について。特別理由書の文面を再修正し提出した。土地賃貸借契約書の訂正のため、覚書を作成する。宗教法人側は仮代表役員を常置委員長として、責任役員も署名する。  
2. 主教から人事諮問を受けた。